平湯　輝山南面

2009 年 1 月 25 日（日）

橋立

今回平湯エリアの中でも比較的アクセスが容易と思われる輝山南面に行ってきた。春から夏にかけては、このあたりの双六川や下佐谷など高原川支流に洋式毛バリ釣りに来ており、勝手知ったる土地ではある。学生時代の友人が上宝町（旧上宝村）出身で、テンカラ釣り師の彼のオヤジさんにこの辺りの釣り場を紹介してもらったのがきっかけで、多い年には初夏から夏の終わりまでほぼ毎週足を運んでいた。しかし冬にこのエリアを訪れるのは今回が初めてだ。

前日 1/24 **白馬栂池～裏ヒヨ～白馬乗鞍スキー場への 1 日ツアーを終え、次の日は同行者がみつからなかったため、そのままおとなしく自宅に帰る予定だったが、帰る段階になって急に前から気になっていた冬の平湯が見たくなった。恐る恐る奥様に電話をして許しを請うてみることに・・・予想に反し、単独であることを心配していたものの「いいよ、気を付けてね」とあっさりした回答をもらった。彼女は今年理学療法士の国家試験を控えており、私のことなどどうでもよいようだ。行きたいと思っていても、突き放されると逆に寂しくなるもので、あまりにあっさりした妻の対応に「やっぱり帰ります」と思わず言ってしまいそうになったが、言いだした手前行くしかない。もしかしたら、今回は一人での山行ということで、本当は妻に止めて欲しかったのかもしれない。しかし引き返すにはもう遅い。すでに高速を降り山深く国道 158 号を平湯に向かって走っていた。**

1/25（日）曇り

6:30 **に平湯トンネルの高山側の入り口あたりから登り始める。**15 **分くらい平坦な林道を歩き、**GPS **と**

地図を頼りに輝山を目指す。新雪は雪面に少しかぶる程度で、パウダーランは期待できない。そうは言っても、伐採林の斜面は開けていて、雪がついていたなら相当に楽しい滑りが期待できる。ただ、滑走距離が短いのが難点か。途中林道を利用しつつ順調に歩みを進める。1700m 付近からは尾根伝いに頂上を目指す。天気は曇り時々晴れで周りの景色が見えたり隠れたり。背後に見えるのは猫岳だろうか、数人登っているのが見える。

平湯エリアは、白馬やら妙高エリアに比べると、スキー場からアクセスできるところが少ないことや、高速から遠くなんとなく隔絶されたイメージがあるためか、訪れる人は少ないようだ。それだけ誰も滑っていない新雪の斜面が残っている可能性が高いわけだから、人が少なく静かなのは歓迎だ。

約 3 時間で頂上に到着（9:45）。本当は北面を滑りたかったので、しばらく頂上周辺をうろうろして、次回のために北面でドロップできそうなポイントを物色してみる。やや林は密に見えるが、雪はよさそうだ。腕とセンスを持ってすれば十分楽しいすべりが出来るとみた。次回チャンスがあれば、ぜひ北面に滑りこみたいと思う。

下りは正味たったの 7 分だった。雪がそれほど良くも無く、気持ちの良いターンが 2、3 回あったのみで、これといった印象を覚えないままに、気がついたらスタート地点に戻っていた。今回滑った南面は手軽にアクセス出来るし、降雪後は十分楽しめる斜面だ。

今回初めて冬の平湯に来たわけだが、期待通り私好みの場所だった。山並みも麓の温泉街もまったりとした雰囲気で居心地がよい。今度は奥様と湯治にでも来ようかと思う。

以上